合同庁舎建設、当分見送り

国の8官署統合

帯広開発建設部など国の八官署を統合する帯広合同庁舎建設構想について、取りまとめ役の大蔵省帯広財務事務所（須藤敬所長）は、六年度の概算要求への調査費要望を見送る方針を決めた。中央官庁間で本格化しそうで、道財務局や道開発局の調整が難しくなっているため、同事務所はこうした情勢から、立地場所や建物面積などの計画見直し作業を進めているが、財政面の問題もあり、新たな計画策定時期の見通しすら立っていない状況だ。

来年度予算

調査費要望を断念

帯広財務事務所 場所など計画見直し

帯広合同庁舎構想は、国の「庁舎を統合するとの閣議決定」（一九九五年＝平成七年度）の第二次官庁整備十カ年計画（三年＝一年度）の地方出先機関庁舎統合の一環で、帯開建、財務事務所はじめ税務署、財務局支局、防衛施設庁局、労働基準監督署、統計情報事務所、同支局の八官署四

当初は総事業費三十四億円をかけ、地下一階、地上七階の庁舎建設が構想されていた。作業を行っている。懸案の用地の確保や経費節減、帯広市中心部の土地有効利用のため早急な計画実施が望まれるが、財政面ならから先行きは厳しい。須藤所長は「官庁整備十カ年計画が存続しており、いずれ実現させたい」と話している。

帯広郵政事業利用者の会が会長表彰受賞

道郵便利用者の会連合会（鈴木茂会長）の五年感謝会があったほど、ホテルニューオータニ札幌で開かれた。席上、帯広郵政事業利用者の会（川上亘会長）が同連合会会長から表彰された。

能登裕氏

能登裕氏が出馬へ

新得町長選挙

16年ぶり選挙確実に

二十三日任期七期満了に伴う新得町長選挙は、二十二日午後五時で立候補の届け出が締め切られ、現職で二期八年間を務めた町政の舵取りをされた「新得の発展のため」と結成の呼び掛け人、役員を務めている。また、第三セクター・新得個選公社問題で住民監査請求を起こしている一人。すでに出馬表明している一人。候補に絞り込んだ。同氏は

【新得】七月二十日告示、二十五日投開票の町長選挙で、開かれた町政をつくる会（山本博会長）は、最終的に無所属、能登裕氏（五十）を推薦することを決めた。

二十三日午後七時半から公民館で開かれる同会役立総会で、二十二日に総会を開き、二十二日に総会を開き、二十二日に総会を開き